

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年 月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:	
指導医師:	
投与開始予定日:	年 月 日
投与終了日:	年 月 日

病名	乳癌
治療法	フェスゴ+タキソテル併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	フェスゴ配合皮下注	タキソテル
規格	IN MA	20mg 80mg
一般名	トラスツズマブ/ペルツズマブ	ドセタキセル
一日投与量(規定)	初回 IN(Tmab:600mg PER:1200mg) 2回目以降 MA(Tmab:600mg PER:600mg)	75mg/m ²
患者情報から算出した 一日投与量		112.58 mg
実際の投与量		113 mg
		75.3 mg/m ²
投与日	day1	
1クール期間	21日間	
予定クール数	●術前投与の場合は最大4コースまで	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	HER2陽性乳癌
推奨 経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 3.重篤な骨髄抑制のある患者 4.感染症を合併している患者 5.発熱を有し感染症の疑われる患者
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm ³ 未満、血小板数:100,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CLEOPATRA試験の投与基準に準拠)
副作用	●フェスゴ 重大 1.心機能障害 2.Infusion reaction 3.過敏症、アナフィラキシー 4.骨髄抑制 5.間質性肺疾患 6.腫瘍崩壊症候群 7.肝不全、肝障害 8.腎障害 9.昏睡、脳血管障害、脳浮腫 10.敗血症 その他 (5%以上)下痢、発疹、注射部位反応、疲労 (2~5%未満)末梢性ニューロパチー、錯覚、味覚異常、不眠症、口内炎、悪心、食欲減退、腹痛、便秘、呼吸困難、鼻出血、爪の障害、皮膚乾燥、手掌・足底発赤知覚不全症候群、脱毛症、筋肉痛、筋骨格痛、関節痛、ALT増加、AST増加、無力症、粘膜の炎症、浮腫 (2%未満)頭痛、めまい、不安、うつ病、嗜眠、神経毒性、結膜炎、流涙増加、視力障害、眼乾燥、嘔吐、消化不良、口内乾燥、ほてり、血腫、頻脈、動悸、潮紅、高血圧、上気道感染、咳嗽、鼻漏、鼻乾燥、胸水、鼻部不快感、口腔咽頭痛、爪感染、皮膚炎、紅斑、さ瘡、そう痒症、皮膚亀裂、筋骨格硬直、γ-GTP増加、リンパ球減少、血小板減少、高クロール血症、LDH増加、高カルシウム血症、高トリグリセリド血症、低カリウム血症、倦怠感、発熱、体重減少、蜂巣炎、悪寒、丹毒、インフルエンザ様疾患、粘膜乾燥、疼痛 ●タキソテル 重大 1.骨髄抑制 2.ショック症状、アナフィラキシー 3.黄疸、肝不全、肝機能障害 4.急性腎障害 5.間質性肺炎、肺線維症 6.心不全 7.播種性血管内凝固症候群(DIC) 8.腸管穿孔、胃腸出血、虚血性大腸炎、大腸炎 9.イレウス 10.急性呼吸促進症候群 11.急性肺炎 12.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症(TEN)、多形紅斑 13.心タンポナーデ、肺水腫、浮腫・体液貯留 14.心筋梗塞、静脈血栓塞栓症 15.感染症 16.抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) 17.重篤な口内炎等の粘膜炎 18.血管炎 19.末梢神経障害 20.四肢の脱力感等の末梢性運動障害 21.Radiation Recall現象 その他 (50%以上)食欲不振、脱毛、全身倦怠感 (5~50%未満)悪心・嘔吐、下痢、口内炎、便潜血、アレルギー、発赤、皮疹、しびれ感、AST・ALT・γ-GTP・AI-P・LDH上昇、蛋白尿、K・Na・Cl・Caの異常、BUN上昇、発熱、浮腫、総蛋白・アルブミン・A/G比・CK異常 (5%未満)腹痛、腹部膨満感、便秘、舌炎、口内乾燥、そう痒感、潮紅、色素沈着、爪疾患、頭痛、意識喪失、見当識障害、めまい、昏迷、難聴、耳鳴、味覚異常、不眠、羞明、視力異常、流涙、結膜炎、筋肉痛、関節痛、筋力低下・脱力感、背部痛、痙攣、総ビリルビン上昇、クレアチニン上昇、尿糖、血尿、乏尿、頻尿、血圧低下、血圧上昇、不整脈、動悸、頻脈、呼吸困難、咽頭炎、咳嗽、静脈炎、疼痛、胸痛、全身痛、熱感、腰痛、鼻出血、ほてり
備考	●タキソテル添付溶解液にアルコール含有→アルコール禁の患者では溶解液を生食 or 5%ブドウ糖へ変更 ●前回投与より6週以上投与間隔が空いた場合は、フェスゴ配合皮下注は IN を使用すること

フェスゴ+タキソテール併用療法 観察記録

所要時間:初回 2時間30分 2回目以降 2時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	フェスゴ配合皮下注() 一般名(トラスツズマブ・ペルツズマブ) タキソテール (mg) 一般名(ドセタキセル)				
☐ 投与決定 ☐ 未決定 ☐ 延期・中止			投与開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		☐ 初回 2時間半かけて点滴【100mL/h】 ☐ 2回目以降 2時間かけて点滴【125mL/h】		
	フェスゴ配合皮下注 ※投与部位は下図参照		☐ 初回 8分以上かけて皮下注 ☐ 2回目以降 5分以上かけて皮下注		
	本体を流しながら経過観察		☐ 初回 30分 ☐ 2回目以降 15分		
	生食100mL +グラニセトロン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴【200mL/h】		
	5%ブドウ糖250mL +タキソテール		60分かけて点滴【 250 mL/h】		
本体終了後抜去					

